

# 野間教育研究所所蔵学校沿革史誌目録 国立高等教育機関編 (2024年3月現在)

## 凡 例

- (1) 全体を国立大学、国立短期大学、国立高等専門学校に区分し、この順に配列した。
  - (2) 「所在地」欄には都道府県名を記載し、北から配列した。
  - (3) 「学校名」欄には各校の(2024年3月)現在の名称を記載した。各都道府県内において、五十音順に学校を配列した。  
(廃止の大学については当時の名称を記載した)
  - (4) 各校の沿革史誌は下記の通りに配列した。
    1. 通史・全体史(主たる包括・前身学校の沿革史はここに含めた)
    2. 学部史
    3. 学科・教室史
    4. 研究所・研究室史
    5. その他の組織史(寮・同窓会・部活動など)
    6. 紀要類
    7. その他(回想録・随筆など)
  - (5) 「書名」「編・著者」「発行所」「刊行年月日」欄にはそれぞれの沿革史誌に記載されている当該事項を記載した  
(奥付に「刊行年月日」の記載が無く奥付以外から採った場合、目印として刊行年の後に「\*」をつけた)
  - (6) 「包括・前身・附属学校」欄には、その沿革史誌の目次の記載通りに包括・前身学校と附属学校を記載した。  
「包括・前身学校」は包括された、または前身となった学校で、近代学校制度によるものに限った。
  - (7) 「同窓会・施設等」欄には、その沿革史誌に沿革が記載されている、「同窓会」「教職員組合」「図書館」「病院」「施設センター」など、団体、機関、施設等を記載した。
  - (8) 「資料」欄には、その沿革史誌に資料、年表、回想、写真等が所収されている場合にその所収されているものを記載した。  
内容については次の通り。
    - ・「資料」：沿革史誌に「資料編」「資料集」等の形でまとまった記載があるもの。但し、一冊全てが資料集の場合は記載しなかった。
    - ・「回想」：回想録、回想座談会の記載のあるもの。
    - ・「年表」：年表の記載のあるもの。
    - ・「写真」：本文に多数の写真が掲載されているもの。
    - ・その他、特徴的な資料がまとまっている場合には個別に記載した。
  - (9) 「備考」欄には、その沿革史誌の形態や内容の特徴的な点、その他特に記載する必要のある点を記載した。
- (注) 『野間教育研究所所蔵学校沿革史誌目録 国・公立高等教育機関編』(冊子目録)との相違点
- ・「分類番号」欄は削除した。
  - ・「巻数」欄はすべて1冊毎の記載に変更したため削除した。
  - ・「総頁」欄は1冊毎の「頁数」に変更した。
  - ・「包括・前身・附属学校」欄の学校種別は省略し、それぞれの学校名を記載した。  
(冊子目録収録の沿革史誌については学校種別の記載はそのまま残している)
  - ・「同窓会・施設等」欄は、冊子目録刊行以降に収集した沿革史誌ではそれぞれの個別の名称を記載した。
  - ・短期大学史誌は、大学に統合された場合には大学史誌目録に並列記載したが、短期大学史誌目録にも廃止前の名称で記載した。